

胡 听雨
HU Tingyu



Sit down, please!

毛糸、プラスチック棚

Sit down, please!

ここ数年でフェミニズム運動(#metoo 運動等)が盛んになるにつれ、フェミニズム運動への抵抗感にも気がつくことができるようになった。この抵抗感は、理解しようとしなない人や反対する人だけではなく、この社会におけるフェミニズムの軽視を意味する。「いつも起きていることを、不平等なことかもしれないけれど、普通に扱う」これが、現代の問題である男女不平等の最大の障害だと考える。

本研究では、作品制作を通じて強い視覚的インパクトを与えることで、観客を作品に惹きつけると同時に、男女不平等の問題に気がつき、考えるきっかけを作ることを目指す。

この作品は、空間に巨大で抽象的なピンクの象のイメージを、編み物と毛糸を使い作り出している。部屋の中の象のようなイメージだ。

「部屋の中の象」は比喩である。英語のスラングである「the elephant in the room」から取った。それは、ある問題が明らかに大きくなっているにもかかわらず、人々がそれを見て見ぬふりをしていることを意味する。これがフェミニズムの現状だと考える。また、象の社会が現在の人間の家父長制社会と異なり母系社会であるという偶然の一致から、象のイメージをフェミニズムの考えのメタファーとして使うこととした。

長い間、女性は機織りなどの仕事に限定されていた。だから、編み物を通して作品を表現、すること、顧みられなかった女性たちの姿を見せることができればと思っている。また、ピンクは女性を象徴する色としてよく使われるため、この作品には全体的にピンクが使われている。しかし、作品の中に入ってよく見ると、ウールの色にわずかな違いがある。私にとってピンクは活力と強さを表す色であるため、伝統的な女性の固定観念を壊すためにピンクを使い、色のわずかな違いを使って女性の強さの豊かさを表現した。

私の作品を見て、フェミニズムに注目し、意識を変えろという意味で広めてほしい。